

経済指標レポート 第210号

(社)関西経済連合会 経済・経営グループ(担当:壺井)

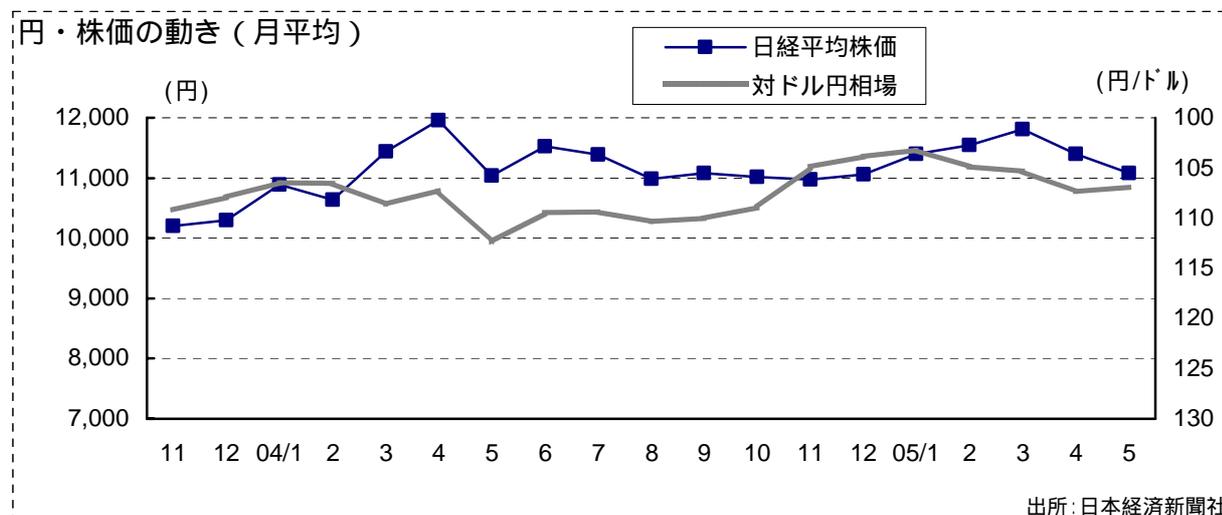
Tel : 06 - 6441 - 0102 Fax : 06 - 6441 - 0443

内閣府が発表した7月の月例経済報告では、企業収益、個人消費、雇用情勢について改善や持ち直しの動きが見られると判断、日本経済の基調判断として「景気は、弱さを脱する動きがみられ、緩やかに回復している」との見方を示し、基調判断を2ヶ月ぶりに据え置いた。先行きについては、情報化関連分野で見られる在庫調整の動きや原油価格の動向等には留意する必要があるものの、企業部門の好調さが持続する中で、家計部門も改善しており、世界経済の着実な回復も伴って、景気回復は底堅く推移すると見込まれている。項目別では、企業の業況判断が前月の「慎重さがみられる」から「緩やかに持ち直している」に2004年7月以来1年ぶりに上方修正、雇用や個人消費などの個別項目は前月の判断のまま据え置かれている。

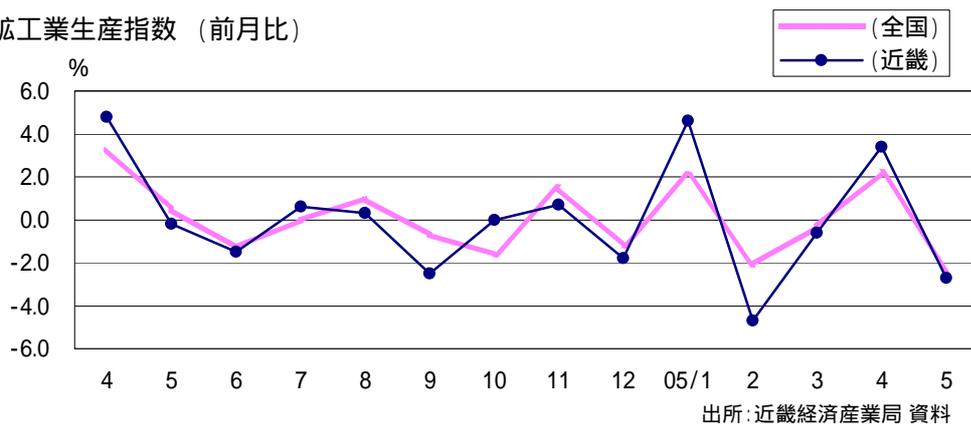
こうした中で、昨日(7月21日)、中国人民銀行(中央銀行)は、これまで米ドルと固定していた中国の通貨、人民元の為替レートを対ドルで2%切り上げると発表した。同時に事実上の固定相場制を改め、本日から上下0.3%の範囲で変動させることとなった。この変動に際しては、日本円など他の通貨の動向も参考とする方針で、事実上「通貨バスケット」を導入した。

元の切り上げ幅は小さく、日本および関西経済への直接的な影響は限定的との見方が多い。むしろ今回の人民元切り上げは、成長著しい中国経済を急速なグローバル化に対応させるための政策当局の第一手と考えられる。中国とのつながりが強い関西経済界としても、今後の動きを注視し、適切に対応していく必要がある。

< 各指標の動き >

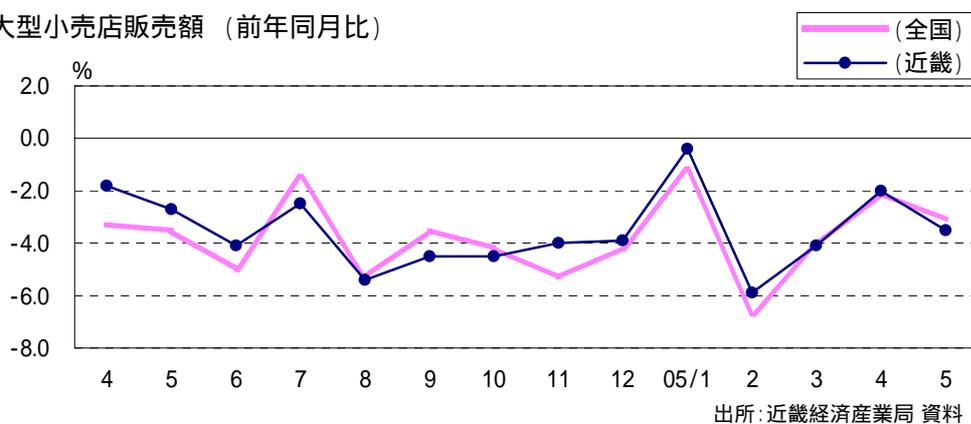


鉱工業生産指数（前月比）



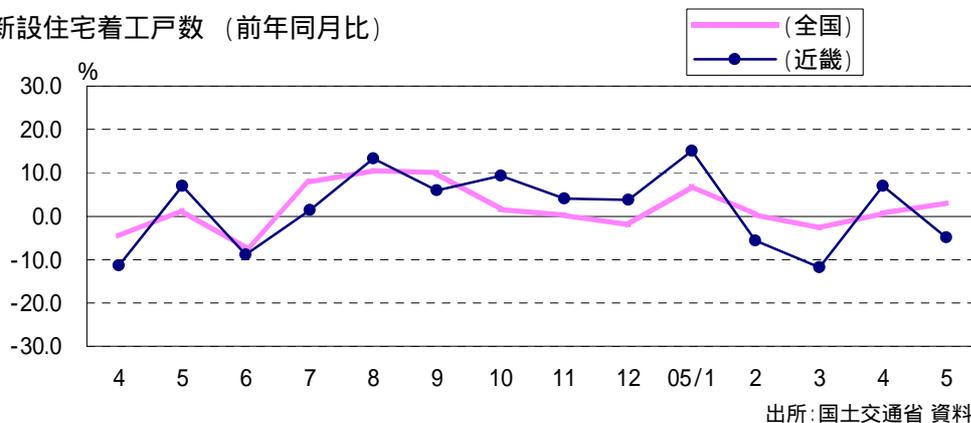
近畿は前月比 2.7%減で3ヶ月ぶりの低下。一般機械工業、精密機械工業、輸送機械工業（鋼船・鉄道車両除く）などが低下に寄与。生産は一進一退で推移している。

大型小売店販売額（前年同月比）



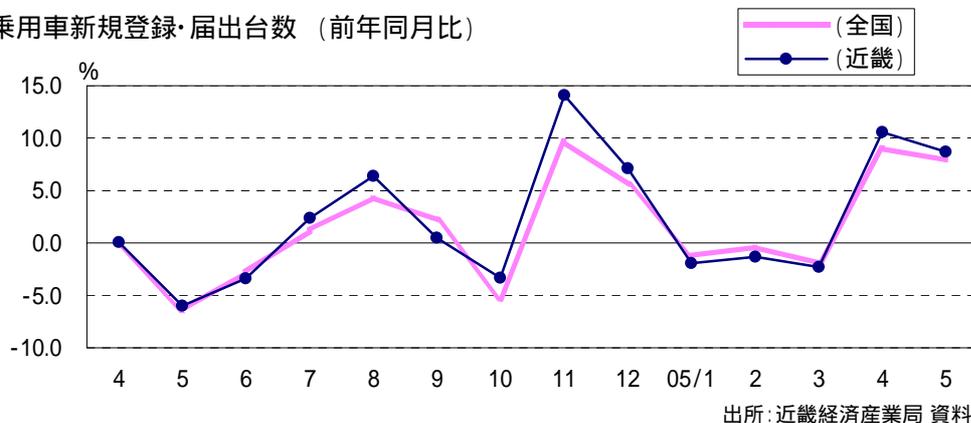
近畿は既存店ベースで前年同月比 3.5%減、15 か月連続のマイナス。気温が前年を下回ったため「衣料品」が不振。「家具・家電・家庭用品」「身の回り品」「飲食料品」も前年を下回った。

新設住宅着工戸数（前年同月比）



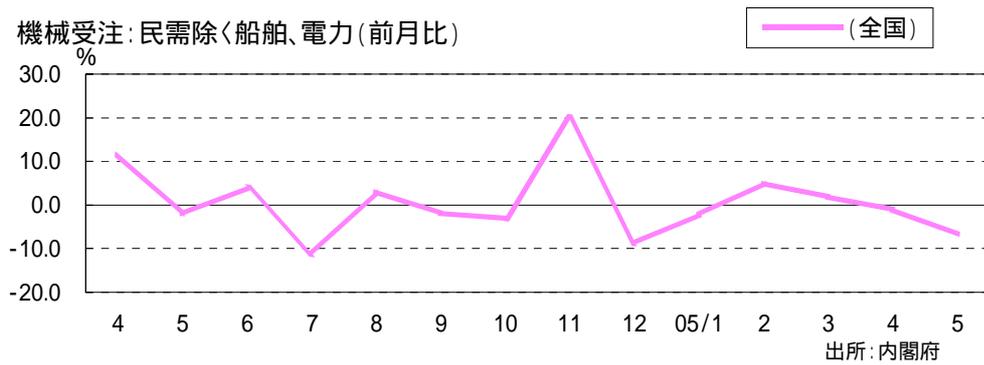
近畿は前年同月比 4.9%減と2ヶ月ぶりに前年を下回った。貸家が2ヶ月連続で前年を上回ったものの、分譲住宅が2ヶ月ぶりに、持家が4ヶ月連続で前年を下回った。

乗用車新規登録・届出台数（前年同月比）



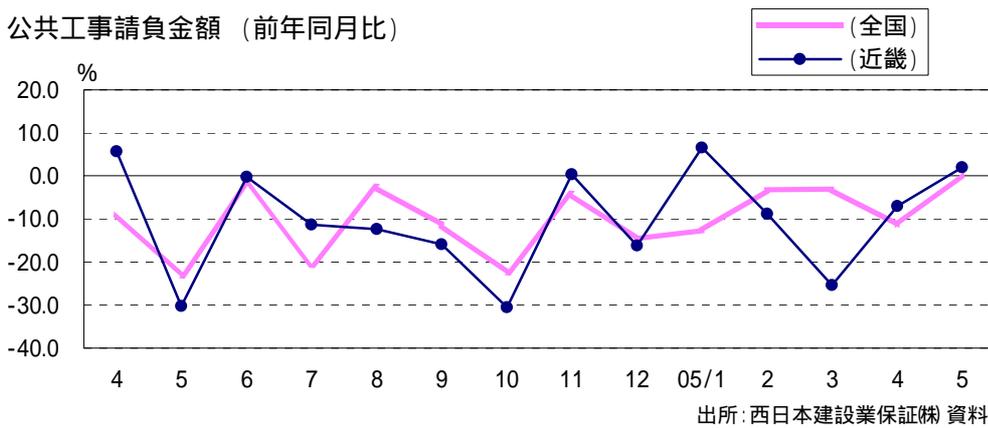
近畿は前年同月比 8.7%増と2ヶ月連続で前年を上回った。普通車が同 1.9%増、小型車が同 11.9%増、軽四車が同 11.1%増で2ヶ月連続でそれぞれ前年を上回った。

機械受注：民需除く船舶、電力(前月比)



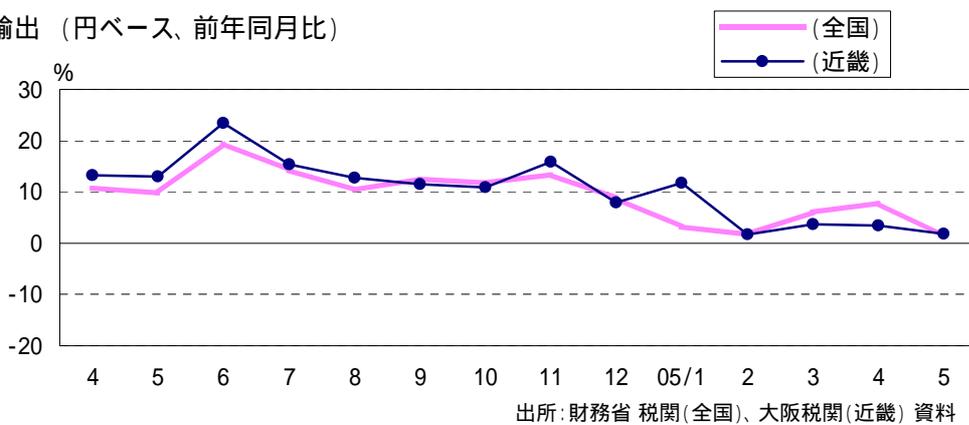
機械受注は前月比6.7%減となった。業種別の受注は製造業が同20.6%減、非製造業(船舶・電力を除く)は同1.5%増となった。

公共工事請負金額(前年同月比)



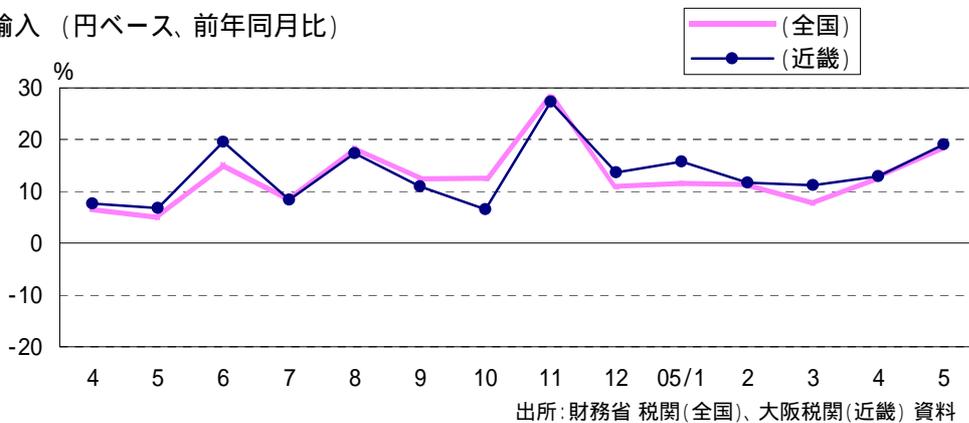
近畿は前年同月比1.9%増。発注者別では、市町村・公共事業団等で2桁減となったものの、奈良県における大型工事等が寄与し、国および府県で大幅増、その他公共団体で増加となった。

輸出(円ベース、前年同月比)



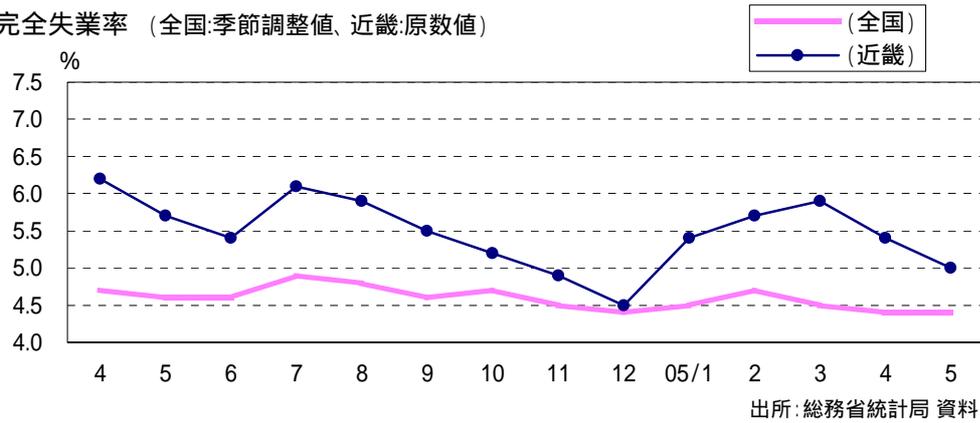
近畿は前年比1.8%増。38か月連続のプラスとなり、3ヶ月連続の1兆円超。事務用機器などが減少したものの、鉄鋼、原動機、建設用・鉱山用機械などが増加。

輸入(円ベース、前年同月比)



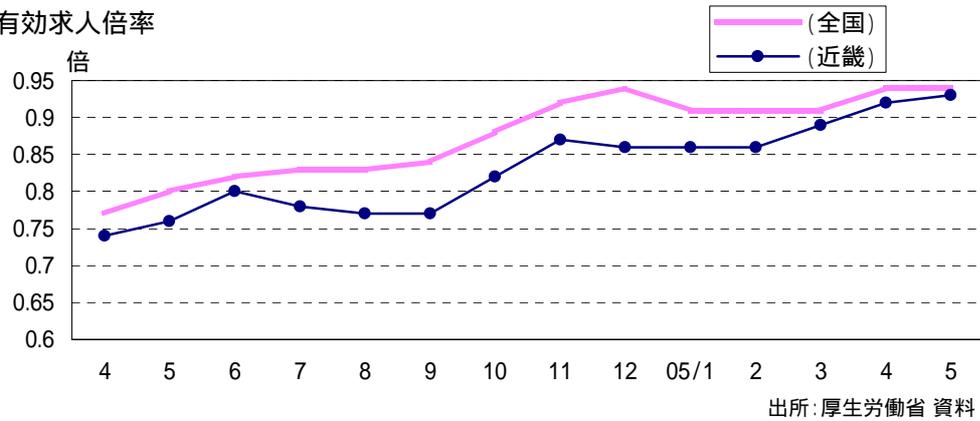
近畿は前年比19.1%増、16か月連続のプラスとなり、7ヶ月連続2桁の伸び。半導体等電子部品などが減少したものの、原租油、たばこ、肉類・同調製品などが増加。

完全失業率（全国:季節調整値、近畿:原数値）



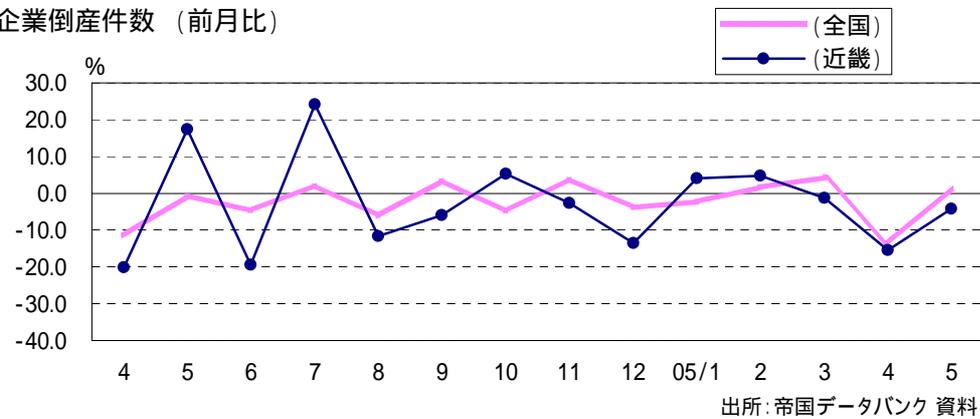
近畿は5.0%で、前年同月に比べ、10ヶ月連続で低下した。厳しさが見られるものの、緩やかに改善している。ここ5ヶ月連続で5%台となっている。

有効求人倍率



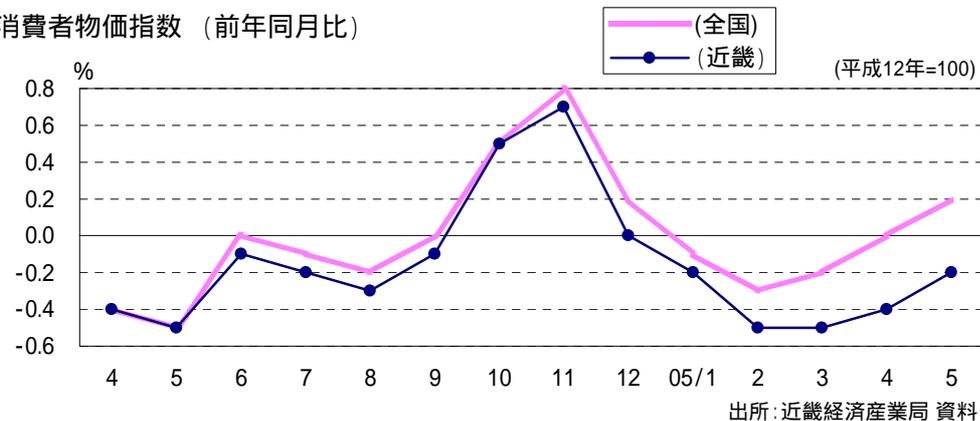
近畿は前月比 0.01ポイント上昇の 0.93倍で3ヶ月連続の上昇。大阪府では情報通信業、建設業、医療・福祉等の新規求人数が増加したが、運輸業、教育・学習支援業等がに減少した。

企業倒産件数（前月比）



近畿は138件で前月比4.2%減。(5月分より帝国データバンクの調査対象変更のため、グラフ・本文ともに前月比にて掲載。)

消費者物価指数（前年同月比）



近畿は97.3で前年同月比0.2%減。家具・家事用品などの下落が寄与しているものと思われる。前月比では0.2%増と3ヶ月連続で上昇している。